

卒業・修了おめでとう！新しい挑戦に向かってジャンプ！！

3月23日は、いよいよ卒業式です。

☆石田 楽空さん☆石山ミイナさん☆今村 成臣さん
☆大下 悠華さん☆中嶋 優翔さん☆宮内 眞地さん
☆渡邊 逸聡さん☆渡邊 楽来さん☆和田 采華さん
☆和田 悠人さん 以上10名の6年生が卒業します。



1・2年生の発表

この1年間、最上級生として、立派に市木小を引っ張ってくれた6年生。卒業式が最後の出番です。この6年間で成長した姿を、お家の方と下級生たちにしっかりと披露してください。

3月25日は、在校生（1～5年生）の修了式です。在校生の皆さんは、この1年間で「成長できた」と思えることがいくつあるのでしょうか？新しい学年、そして、中学校で、色々な事に挑戦してぐんぐん伸びていってほしいと思います。



3・4年生の発表

保護者の皆様、地域の皆様には、この1年間、昨年に数倍してコロナの影響が拡大する中、行事の変更等にも柔軟に対応くださり感謝申し上げます。まだまだ出口の見えないコロナの状況ですが、令和4年度も、可能な限り、充実した学校生活を子どもたちに提供できるよう職員一同努力して参りたいと思います。今後とも御理解、御協力の程よろしくお願いいたします。

今年度最後の参観日。ありがとうございました。

3月2日は、今年度最後の参観日でした。各学級ともに普段の学習の成果を発表し、この1年間で成長した姿を、保護者の皆様の前で十分に披露してくれました。

1、2年生は、1年間を振り返っての発表や縄跳び
3、4年生は、マットや跳び箱、調査発表、器楽演奏
5、6年生は、縄跳び・跳び箱、劇、俳句の発表 等
一生懸命な低学年、照れながらも自主性の見られた中学年、発表を楽しむさすがの高学年、それぞれの発達段階が感じられた素敵な発表でした。



5・6年生の発表

お別れ遠足。思い出たくさんできました。



3月4日はお別れ遠足でした。体育館でお別れ交流会をした後、縦割りの7つの班に分かれてウォークラリーを行いながら、市木中学校へと向かいました。お別れ交流会では、下級生が、卒業生の好きなものを当てるクイズをしたり、名前をあいさつお作文にして紹介したり、マジックを披露したりして卒業生に感謝の意を伝えました。心配された天気にも恵まれ、春の穏やかな日差しを浴びながら、班ごとに仲良く歩いていく姿はとても微笑ましく思えました。市木中では、「しっぽ」取り等でみんなで盛り上がりました。6年生を中心に、運動会や劇で一致協力した団結力や創造力、チャレンジ精神は、後輩たちがきっと引き継いでくれるものと思います。

「校長先生の挑戦10」世の中の一人としてできること

3月1日の全校朝会では「世の中の一人としてできること」と題して、SDGsについての話をしました。

【サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ】（持続可能な開発目標）には、地球上の誰一人取り残さないことがうたわれており、「①貧困をなくそう」「②飢餓をゼロに」といった主に発展途上国において深刻な問題から、「⑫つくる責任つかう責任」「⑬気候変動に具体的な対策を」のように、主に先進国において早急な取組や対応が必要とされる問題まで17の目標（ゴール）と169のターゲットが掲げられています。



今回は、「④質の高い教育をみんなに」「⑤ジェンダー平等を実現しよう」に関わる話をしました。話の主人公は、マララ・ユサフザイ。1997年、パキスタン生まれ。現在24歳の女性です。マララが9歳の頃、マララの住む町が武装勢力「タリバン」に支配され恐怖政治が行われるようになりました。「タリバン」は、女性が教育を受けることを禁じ、それを破る者は命を狙われました。そんな中、マララは、11歳の頃から、その恐怖や女性への教育の必要性を訴えるブログを外国の放送局に投稿し始めました。その命がけの意見は世界中の人々の心に届き、様々な国のリーダーがマララの意見に賛同したり、女性が勉強する仕組みを整えたりして世界が大きく変わり始めました。マララは、15歳の時、下校中に「タリバン」に襲われ、頭に2発の銃弾を受けました。その後奇跡的に回復したマララは、今も自分の意見を述べ続けています。

マララの行動は、「勇気があった」の一言だけで説明できるものではないと思います。【知ること】「女性の仕事は家族の世話だけという考えは世界では当たり前ではない。」【感じること】「女性がやりたい事をやったり、夢をもったりできないのはおかしい。」【考えること】「銃をもった大人を相手に、子どもの自分にできることは何もないの?」【行動すること】「この恐ろしく、つらく理不尽な現実を多くの人に知ってもらおう。」

この4つが揃って初めてできたことだと思います。マララの行動により、世界中の人々が、マララのことを【知り】、マララと同じようにおかしいと【感じ】、出来ることはないのかと真剣に【考え】、世界中が大きく【行動】し始めました。この4つは、全てのSDGsに共通する大切な要素だと思います。目の前の当たり前は、目の前だけの当たり前かもしれません。知って、感じて、考えて、行動することが大切です。



アメリカと「zoom」でつながりました。

3月8日に、市木出身で、米サンフランシスコ在住の右松孝臣さんと「zoom」によるリモート授業を行いました。

画像を使って紹介いただいたアメリカの学校と日本の学校との違い等に子どもたちは興味津々。たくさんの質問をしていました。何より、インターネットを通してアメリカとつながれた事が、子どもたちにとって貴重な体験でした。



4月の行事予定（主なもののみ）		
7日新任教 始業式	18日家庭訪問開始	22日参観日・PTA総会
12日入学式	19日全国学力テスト6年	28日交通教室
14日1年生給食開始	20日知能検査2年	

